

[2007 早稲田大]

解説

$f(x) = -x^2 + (a+2)x + a - 3$ ,  $g(x) = x^2 - (a-1)x - 2$  とする。

「どんな  $x$  に対しても、それぞれ適当な  $y$  をとれば不等式(\*)が成立する」ための条件は、 $y = f(x)$  のグラフと  $y = g(x)$  のグラフが共有点をもたないことである。

$f(x) = g(x)$  から

$$-x^2 + (a+2)x + a - 3 = x^2 - (a-1)x - 2$$

整理して  $2x^2 - (2a+1)x - a + 1 = 0$

判別式を  $D$  とすると

$$\begin{aligned} D &= (2a+1)^2 - 4 \cdot 2 \cdot (-a+1) = 4a^2 + 12a - 7 \\ &= (2a+7)(2a-1) \end{aligned}$$

$D < 0$  であるから  $(2a+7)(2a-1) < 0$  よって  $-\frac{7}{2} < a < \frac{1}{2}$

「適当な  $y$  をとれば、どんな  $x$  に対しても不等式(\*)が成立する」ための条件は、

$$\{f(x) \text{ の最大値}\} < \{g(x) \text{ の最小値}\} \dots\dots \textcircled{1}$$

が成り立つことである。

ここで  $f(x) = -\left(x - \frac{a+2}{2}\right)^2 + \frac{1}{4}(a^2 + 8a - 8)$

$$g(x) = \left(x - \frac{a-1}{2}\right)^2 - \frac{1}{4}(a^2 - 2a + 9)$$

$\textcircled{1}$  から  $\frac{1}{4}(a^2 + 8a - 8) < -\frac{1}{4}(a^2 - 2a + 9)$

よって  $2a^2 + 6a + 1 < 0$  これを解くと  $-\frac{3-\sqrt{7}}{2} < a < \frac{-3+\sqrt{7}}{2}$

